

令和7年度 かながわ子ども虐待予防研究会 第2回研修会
逆境的小児期体験（ACE）を緩和する保護的小児期体験
（PACEs）に着目した地域における育児支援

虐待や家庭の機能不全といった「小児期逆境体験（ACE）」が、その後の人生にどのような影響を及ぼすのか。ACEの影響を緩和するための地域づくりについて、若年出産を含む多くの研究を重ねてきた講師を迎え、明日からの実践に活かせるヒントを学びます。参加者同士で語り合い、つながる時間をご用意しています。ぜひご参加ください。

9/27 SAT. 13:30 ~ 15:30

参加費： 会員・賛助会員・学生 1000円、非会員 3000円

会場：ビジョンセンター横浜（西口）4階405

〒220-0004 横浜市西区北幸2-5-15 プレミア横浜西口ビル（裏面アクセスマップ参照）

※オンデマンド配信あり 配信期間：10月10日(金)～11月30日(日)

講師 関西医科大学看護学部教授
大川 聡子氏

【講師紹介】東京慈恵会医科大学医学部看護学科卒業。立命館大学大学院社会学研究科博士後期課程修了。博士（社会学）。足利市に保健師として勤務、大阪府立大学看護学類准教授を経て、2021年に関西医科大学看護学部准教授、2023年から同教授。アメリカ、セントルイス大学看護学部にてVISITING ASSOCIATE PROFESSORとして滞在中、ACEが若年母親の子育てにもたらす様々な影響に気づき、地域においてACEを緩和する体験を増やすための研究を進めている。著書：「10代の母というライフスタイル—出産を選択した社会的経験に着目して」（晃洋書房、2016年）

参加申し込みはこちらから⇒
〆切：9月20日

KanaCap第2回研修会



アクセスマップ



講演録のご案内

2018年9月8日の設立記念講演「世界から学ぶ虐待予防支援」と題して、アメリカの小児科医師 ケンプ理論を中心にご講演いただいたもの（パート2も含む）をまとめた講演録を作成しました。保健師等看護職が日々出会う、SOS の声を上げることが難しい親子への支援の礎となる内容です。

- ★ 小林美智子先生 講演録「これからの子ども虐待予防活動にエールを送る」を会員加入者は無料提供します。
- ★ 販売 非会員 1,600円（送料込み）購入希望の方は HP をご確認ください。

かながわ子ども虐待予防研究会（KanaCap）会員募集中！

かながわ子ども虐待予防研究会は「子どもの虐待予防」についての研修や研究を行う団体です。今年度から賛助会員の募集を開始いたしました。

正式会員：本会の目的に賛同する看護職（看護学生を含む）

賛助会員：本会の目的に賛同される本会の目的に賛同し、事業を賛助する看護職以外の方

年会費：年間3,000円

お問い合わせ

かながわ子ども虐待予防研究会（KanaCap）
<https://kanaphncap.jp>

